



中丹高次脳機能障害者と家族の会

“さくらの会”便り

No126号 2020.6.29

発行責任者
会長 田中 明
編集責任者
事務局長 上原 栄
TEL 0773-22-7859

—リラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えるところ—

お知らせの中止 リハビリテーション講習会 新型コロナの影響で



福知山市・さくらの会主催の「高次脳機能障害リハビリテーション学習・交流会」については、中止となりましたのでお知らせします。

当初は、令和2年7月5日に開催の予定でしたが、5月中旬の段階で、新型コロナウイルス感染症の収束の予想がつかない中での開催は難しいと判断し、今年度の開催を中止することとなりました。

『なお、福知山市としては、今後も高次脳機能障害について市民への理解・啓発に努めてまいりたいと考えておりますので、御協力いただきますようお願いします。』との連絡を頂いています。

カラオケ交流集会も中止

さくらの会の年間行事予定の6月予定のカラオケ交流会につきましても、三密の心配があり、中止とさせて頂きました。9月のカラオケ交流会は未定です。



新型コロナウイルス感染症で「マスク」が店頭から消えてしまいました。

当初、少なくなった時に、いずれ入荷するだろうと思って買わなかったのですが、長い間店頭にマスクが出なかった。

手作りマスクを作るため、「さらし」「ガーゼハンカチ」「シャツ」を使って家族・子供・孫のマスクを作りました。

白糸もなくなり、買いに行きましたが壳り切れ。

10年前引っ越ししたときの裁縫道具の紙箱を見つけ、ゴム紐も出てきました。

今回のコロナで、日本の医療が、外国に頼っているかが良く分かりました。

日本の医療を、輸入に頼らなくてもいいよう、命を守るため、せめて、医療関係の必要物品（マスク、防護服、消毒液等）だけでも自給率を上げて、命を守る政策が大事だと思いました。



コロナコロナで気持ちが晴れない

会の行事である新春交流会から定期総会、カラオケ交流会、高次脳機能障害リハビリテーション学習・交流会と新型コロナウィルス感染症の感染予防のため開催が中止となりました。

会員の皆さまの間においても、一同に会して情報提供や悩み相談等もできず、気持ちが晴れない状況が続いている。

会員の皆さまがお互いに、意識して電話などを利用し交流しましょう。



みんな会いたい

会員さんからは、

「会員の皆さんに会えたら当事者も元気が出ると思います。早くコロナが収束して皆さんが顔を会わされる日が来ることを楽しみにしています。」「体調を崩していましたが、頑張っています。」「元気にしております。現在はハローワークの障害者求人募集に積極的に応募しています。新型コロナの影響は、暫く続くと思いますので、どこかの時点で一度でも、さくらの会の会員さんたちが集まれる機会ができ



▼それよりも早く新型コロナが収束して、みんなとカラオケに行き大声で歌えたら、きっと元気ができる。早くそうなつてほしいと思ってます。

【F】

るといいですね。」「皆さんお元気ですか。家内は元気です。私は過日の検査で完治診断でしたが、コロナウイルスには気をつけた様にとのことでした。症状は少し残っています。」と言う声が届いています。

体を動かしましょ

感染を恐れるあまり、外出を控えて過ごし、動かないことで健康への影響が危惧されます。



身体や頭の動きが低下し、歩行や身の回りの事などの生活動作がしづらくなり、疲れやすく、虚弱が進行します。

自宅でできるちょっとした運動、ラジオ体操、スクワットなど有効です。散歩くらいの運動もして、身体を動かすようにしましょう。



【編集後記】

▼アベノマスクが、六月一五日にやつと送られました。もうほとんどの店で買うことができるのでもう少し早く欲しいといった感じです。
▼梅雨の季節。運動不足と年齢のせいか、体がダルンとなつてしまつキリとしない。